

申請書作成上の注意点

赤字：記入例

申請書1～2ページの「申請書情報」は、「電子申請システム」より作成してください。

令和2年度 採用分		No.	
若手研究者海外挑戦プログラム 申請書		第 版	
受付番号			
審査区分	① 書面合議・面接審査区分		
	② 書面審査区分		
	③ 小区分名		
	④ 小区分コード	⑤ 専門分野	
⑥ 研究課題名	(和文)		
	(英文)		
1. 申請者情報等		(所属機関コード:)	
⑦ 氏 名	登録名	(フリガナ) (姓) (名) (漢字等) (姓) (名)	⑧ 性 別 1. 男 2. 女
	戸籍名	(フリガナ) (姓) (名) (漢字等) (姓) (名)	
	ローマ字表記	(ローマ字) (姓) KYODAI (名) Taro	
⑨ 国 籍	日本 / 日本以外 (国名コード: 国名:)		
⑩ 生年月日	(西暦) 年 月 日 生 (西暦 2020 年 1 月 1 日現在 歳)		
⑪ 大学院 博士課程 (在籍または 在籍予定)	入学年月	(西暦) 年 月 入・進学/入・進学予定	
	大学名	京都大学 (14301)	
	研究科名	文学 (0001)	
⑫ 学歴 (学部、修士、 博士)	課程種別	博士課程 (3年制)	
⑬ 研究・職歴等	<ol style="list-style-type: none"> 2017年3月 京都大学〇〇学部卒業 2017年4月 京都大学大学院〇〇研究科 修士課程 入学 2019年3月 京都大学大学院〇〇研究科 修士課程 修了 2019年4月 京都大学大学院〇〇研究科 博士課程 進学 		
⑭ 派遣を希望する期間	(西暦) 年 月 日 ~ (西暦) 年 月 日 (日間)		
⑮ 派 遣 国			
⑯ 大学院博士 後期課程 における 研究指導者	氏 名	(フリガナ) (姓) (名) (漢字またはローマ字) (姓) (名)	
	科 研 費 研究者番号		
	所 属 機 関 名	京都大学 (14301)	
	部 局 名	人文科学研究所 (0245)	部局種別
職 名			

申請者登録名

※ (英文) と指定された項目以外は全て日本語で記入すること

⑦氏名：ローマ字表記は、姓は全て大文字、名は最初の一文字のみ大文字、以降は小文字とすること。

⑪-研究科名：専攻名は不要。学籍上の所属（研究科等）を記入すること。
× 研究所 × センター

⑪-課程種別：・医学研究科（医学専攻、マギル大学ゲノム医学国際連携専攻）
／薬学研究科（薬学専攻）
⇒「博士課程（医・歯・薬・獣医学系4年制）」を選択。
・アジア・アフリカ地域研究研究科／総合生存学館
⇒「博士課程（5年一貫制）」を選択。
・上記以外の研究科
⇒「博士課程（3年制）」を選択。

⑫学歴：西暦で記入すること。⑪大学院博士課程と相違ないようにすること。

⑬研究・職歴等：西暦で記入すること。特別研究員採用歴がある場合は、下記の例に従って記入すること。
採用年度(2桁)と受付番号を末尾に記入すること（例えば、平成22年度採用 受付番号 123 の場合、末尾に「22-123」と記入）
例1：2009年4月～2010年3月 DC1 申請・採用 (21-123)
2010年4月～2012年3月 DC1 採用後PDに変更 (21-123)
例2：2009年4月～2011年3月 DC2 内定後PDに変更 (21-4567)
例3：2011年4月～2014年3月 PD 申請・採用 (23-123)
例4：2011年4月～2012年3月 PD 内定後DCに変更 (23-4567)
2012年4月～2014年3月 DC2 採用後PDに変更 (23-4567)

⑯-部局種別：本ファイルの最終ページを参照すること。

⑯-職名：複数の身分を兼ねている場合は、原則として本務について記入すること。

申請書作成上の注意点

赤字：記入例

⑬海外における 受入研究者	氏名	(FAMILY NAME) (英文) KYOTO	(First Name) Hanako	(Middle Name) K.
		海外受入研究者が日本人の場合、入力して下さい。 (漢字等) (姓) (名)		
	職	(英文)	(和文)	
	受入機関名	(種別) 大学 / 国公立試験研究機関 / 非営利の民間研究機関		
		(英文)	(和文)	
受入部局名	(英文)	(和文)		
	(和文)			
⑭評価書作成者	氏名	(フリガナ) (姓) (名)	(漢字またはローマ字) (姓) (名)	
	所属機関名			
	部局名			
	職名			
⑮ 研究活動に おける主な 使用言語	英語、フランス語			
⑯外国での 研究遂行能力 について (語学能力の 確認)	英語：.....			
	フランス語：.....			
⑰海外における 研究・留学歴 (1か月以上海 外で研究に従 事した経験が ある場合に記 入してください。 語学研修な ど研究以外の 海外滞在は含 みません。該 当がない場合 は「該当なし」と 記入してくだ さい。)	訪問先： 目的： 該当なし	期間：(西暦) 年 月 日 ~ 年 月 日		
	訪問先： 目的：	期間：(西暦) 年 月 日 ~ 年 月 日		
	訪問先： 目的：	期間：(西暦) 年 月 日 ~ 年 月 日		
	訪問先： 目的：	期間：(西暦) 年 月 日 ~ 年 月 日		

※ (英文) と指定された項目以外は全て日本語で記入すること

- ⑰-氏名：FAMILY NAMEは全て大文字、First NameおよびMiddle Nameは最初の文字のみ大文字で以降は小文字とすること。
ただし、Middle Nameについては、アルファベットのイニシャルと省略記号「.」で表記すること。
例：Middle Nameが「Kyodai」なら、「K.」と表記。
- ⑱：複数回答可。
- ⑳：⑱で記入した全ての言語について記入すること。例えば、⑱において「英語、フランス語」と記入した場合、㉑においても英語、フランス語どちらともについて記入すること。
- ㉑：1か月以上海外で研究に従事した経験がある場合に記入（語学研修等研究以外の海外滞在は含まない）。
3件以上ある場合は、渡航期間の長い主要なものを優先すること。
該当がない場合は、「該当なし」と記入すること。

申請書作成上の注意点

2. 現在までの研究状況と研究成果

(1) 現在までの研究状況

(図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。様式の改変・追加は不可(以下同様))

- ① これまでの研究の背景、問題点、解決方策、研究目的、研究方法、特色と独創的な点について当該分野の重要文献を挙げて記述してください。
- ② 申請者のこれまでの研究経過及び得られた結果について整理し、①と関連づけて説明してください。「3. 研究成果等」欄に記載した論文等を引用する場合には同欄の番号を記載するとともに、申請者が担当した部分を明らかにして記述してください。

(2) 研究成果等 【査読中・投稿中のものも含む】

申請書作成要領に別途定める項目(作成要領 8 頁参照)について申請者が中心的な役割を果たしたもののみ項目に区分して記載してください。その際、通し番号を付すこととし、該当がない項目は「なし」と記載してください。申請者にアンダーラインを付してください(論文数、学会発表等の回数が多くて記載しきれない場合には、主要なものを抜粋し、各項目の最後に「他〇報」等と記載してください。

【P. 3～P. 4まで共通】

- ◆ (英文) と指定された項目以外は全て日本語で記入すること
- ◆ 10ポイント以上の文字で記入すること
- ◆ 枠の拡張又は縮小、記入しない項目の省略等、様式の加工・変更、ページ数の変更は不可。
- ◆ 様式右下の「申請者氏名」の記入を忘れないこと

(2) 研究成果等：

- ・ 申請者の氏名にはアンダーラインを引くこと
- ・ 作成要領P. 8～9の①③④については査読の有無を記入すること
- ・ ③④については口頭/ポスターの別を記入すること
- ・ ③④については発表者名に〇印を付すこと

申請者氏名 京大 太郎

3. 派遣先における研究計画等

(1) 研究目的・内容 (図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください)

- ① 研究目的、研究方法、研究内容、特色と独創的な点について記述してください。
- ② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのかを、具体的に記入してください。
- ③ なお共同研究の場合には、申請者が担当する部分を明らかにしてください。

(2) 外国で研究することの意義 (派遣先機関・指導者の選定理由)

- ① 申請者のこれまでの研究と派遣先機関(指導者)の研究との関連性及び受入準備状況について記述してください。(※採用された場合は受入承諾書の提出を求めます。)
- ② 内外の他研究機関(研究者)と派遣先機関(指導者)とを比較し、派遣先で研究する必要性や意義について明らかにしてください。(フィールドワーク・調査研究を行う場合、派遣先地域で研究する必要性や意義を中心に述べても構いません。)

【P. 3～P. 4まで共通】

- ◆ (英文) と指定された項目以外は全て日本語で記入すること
- ◆ 10ポイント以上の文字で記入すること
- ◆ 枠の拡張又は縮小、記入しない項目の省略等、様式の加工・変更、ページ数の変更は不可。
- ◆ 様式右下の「申請者氏名」の記入を忘れないこと

(2) 外国で研究することの意義：

- ・ 派遣先機関(指導者)との打合せ状況についても記入すること

申請者氏名 京大 太郎

申請書作成上の注意点

申請書5ページの「評価書」は、「電子申請システム」より作成してください。

若手研究者海外挑戦プログラム申請者に関する評価書

評価書作成者	氏名	ヒョウカ タロウ 評価 太郎
	所属機関名	〇〇の研究機関 〇〇〇〇〇〇 (XXXXXX)
	部局名	〇〇〇〇 (XXXX)
	職名	〇〇〇 (XXX)
申請者との関係	現在の受入研究者	
<p>申請者の研究姿勢・忍耐力・研究の進捗状況、専門知識・技量、着想力・創造力、コミュニケーション能力、語学能力、リーダーシップ、将来性などについて。また、研究の独創性又は特色について（その研究が共同研究である場合は、特に申請者が当該共同研究において果たした役割及びその寄与の程度を明記）。</p> <p>コメント コメント コメント コメント コメント</p>		

※申請者へは評価書が提出されたことが通知されますが、評価書の内容を確認することはできません。

見本

(参考)

主な部局種別

部局	例	部局種別
〇〇部	文学部 等	「学部」を選択
〇〇研究科	文学研究科 等	「研究科」を選択
〇〇教育部	公共政策連携教育部 等	「その他」を選択して、「教育部」と入力
〇〇研究部	経営管理研究部 等	「その他」を選択して、「研究部」と入力
〇〇研究所、〇〇センター	人文科学研究所、 こころの未来研究センター 等	「附置研等」を選択
〇〇研究院	高等研究院 等	「研究院」を選択
総合博物館	—	「附置研等」を選択
地球環境学舎	—	「その他」を選択して、「舎」と入力
地球環境学堂	—	「その他」を選択して、「堂」と入力
国際高等教育院	—	「その他」を選択して、「院」と入力
総合生存学館	—	「その他」を選択して、「館」と入力
産官学連携本部	—	「その他」を選択して、「本部」と入力

※P. 1⑩大学院博士後期課程における研究指導者の「部局種別」は上記の表を参照してください。